

櫛

～けやき～

成田市立中台中学校 学校だより

文責：内田 淳

令和7年 3月21日(金) Vol.46

学校教育目標 『自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成』

「仲間も自分も大切に」「感動・感謝を大切に」
「団結・協力を大切に」「命を大切に」



【ホームページへ】

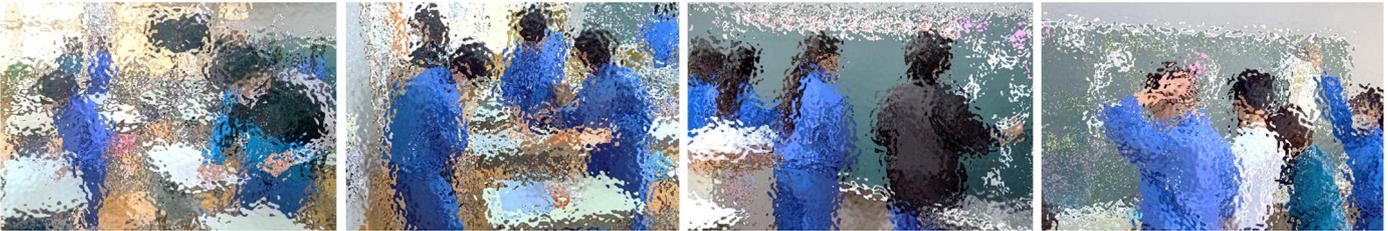
みんなで支えた卒業式

13日(木)前日までの雨がからりと晴れて、穏やかなひざしが降りそそぐ中、第52回目となる卒業式が行われました。今年度の卒業生は71名。それぞれの思いを胸に、担任の先生からの呼名に応え、渾身の合唱を体育館いっばいに響かせ、涙と笑みを浮かべながら、未来へと踏み出していきました。

3年生が気持ちよく卒業できたのは、歌、礼法、清掃や会場設営などなど様々な場面で、力を合わせて準備してきた在校生の力があってこそ。卒業式をしっかりと支えてくれました。



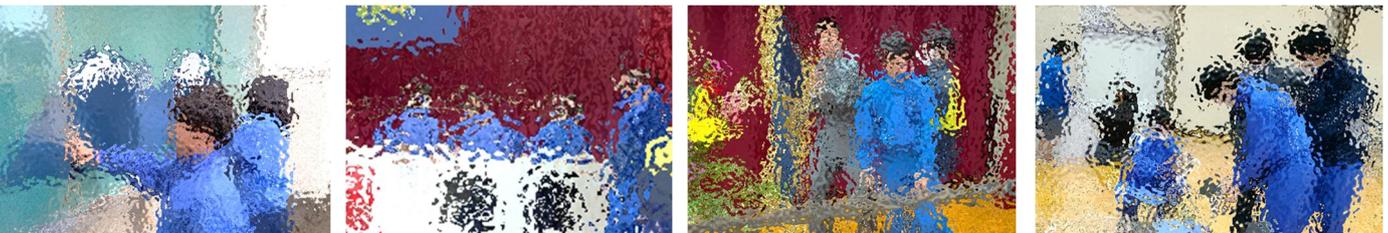
【まずは運ぶことから始まります。テーブル、スリッパ、プランター。キビキビとよく働きます。ちなみにこのスリッパは、PTAの皆さんから買っていただいたもので、上品なチョコレート色に金色の文字で学校名が入っている、高級感あふれるデザイン。ありがとうございます】



【机上进行ききれいに拭いて、最後の配付物や胸花を並べるとともに、前と後ろの黒板を、わいわい言いながら、趣向を凝らして飾り付け。最後の瞬間を過ごす教室なので、明るく華やかに、そして思いを込めて整えます。3年生が喜んでくれることだけを考えて頑張りました】



【「玄関はその家の顔」と言われます。トイレや玄関、廊下など、汚れやすい場所も入念に掃除して、心地よく利用できるようにしたいもの。担当の生徒は、自分たちでどんどん気付けて清掃に取り組みました。お客様も、「きれいにしていますね」と褒めてくださいました】



【外の装飾は情報文芸部が頑張りました。会場設営は2年生が、看板を取り付けて、校旗を立てて、椅子を並べてきれいに拭き上げます。この椅子もPTAから買っていただきました。軽くて汚れが付きにくく、長時間座っても疲れないすぐれもの。ありがとうございました】

3年生は、中学校の課程を「修了」して巣立っていきました。「修了」とは、学ぶべきことを全て身に付けることを言います。今学期の「3年生を送る会」と卒業式では、その準備の過程と当日の動きの一つ一つが、在校生が集団として、または各個人として、学ぶべきことを学んだ成果として発揮されたものだとは私は考えます。つまり、3学期末のこれらの行事は、在校生にとっても、「修了」にふさわしいものだったということです。1年間の成長が手に取るように分かり、頼もしさを感じています。

これまでのいろいろな活動の中で、できるかどうか悩んだり、時には投げ出したくなったりしたこともあったかもしれませんが、それでも、支え合って今日まで乗り越えてきました。仲間と協力すれば乗り越えられる、ということ、皆さんはこの一年間で学んできました。その集大成が「3年生を送る会」であり、卒業式なのです。これができるのだから、きっと令和7年度も、さらに伸びていくことでしょう。3年生の旅立ちを祝いつつ1、2年生の成長を感じた日々でした。

さあ、3学期はあと1日。そして、その2週間後には、令和7年度の1学期が始まります。

ひたむきに、ひとすじに



【〇さんと先生の練習風景。曲に表情をつけて、緩急や強弱がさらに豊かに表現されていました】

23日(日)、吹奏楽部の〇〇さん(2A)が、千葉県吹奏楽個人コンクールに出場します。

当日は、先生が伴奏者として、ともに舞台に立ちます。これまでとはまた違う雰囲気の中で、緊張するのもしやむを得ないところですが、自分をよく分かってくれている先生と演奏するのは、きっと心強いことでしょう。

〇〇さんは、1月の予選を金賞で通過してからも、ひたむきに、ひとすじに練習してきました。

誠実に、基礎を大切に積み重ねてきた成果を発揮し、いつも通りの心持ちで、楽しく演奏してほしいと、心から願っています。

授業を大切に



【1Bの音楽は、1年間の学習を班対抗のクイズで振り返りました。器楽、鑑賞、合唱など、楽しみながら学んできました。鑑賞では「魔王」の登場人物を「娘だよ」「いや、馬だよ」と言い合うなどして大盛り上がり】



【2Bの国語はディベート。「大雪の日は休校にするべきか否か」をテーマに論戦。肯定派の多くが否定派(南t)の意見に納得してしまいました。悪天候による休校の判断の悩ましさ、分かってくれたかな】



【1Aの数学は、IT企業の入社試験に出る論理問題を解いていました。この机の配置は、互いの顔がよく見えて、話し合いにはすごく向いています。どの班も、ああでもないこうでもない和白熱していました】

14日(金)の授業参観では、たくさんの方にご参観をいただき、ありがとうございました。どの教科も、生徒が活動する場面を設定しており、話し合っって課題を解決しようと取り組んでいました。

生徒は、班などで課題の解決に向けて話し合っって取り組む授業には、特に積極的に取り組む傾向があります。学校では、このような活動を通して、生徒の思考力・判断力・表現力を高めようとする一方で、「基礎的な事項を身に付けられるように」と、知識や技能を伝達する授業も行っています。限られた時間の中で、基礎力も、応用力も……と、そのバランスを考えて試行錯誤しながら、各教員は授業を行っています。

手に入れた知識や情報を活用し、互いに考えを交流するなどして、課題を解決する力は、これからの「予測不可能な社会」を生きていく生徒たちにとって、大切な力であることは言うまでもありません。

ここに紹介した4つの授業場面も、これまでに身に付けてきた知識や技能を活用し、それを互いに交流して、「天気を予報する」「相手を説得するように考えをまとめ、伝える」などの課題に取り組んでいます。

個人でも進められる学習と、集団だからこそできる学習と、そのどちらにも効果があります。また、少人数の集団での学び合いと、学級全体での学び合いでも、それぞれのよさがあり、意義があります。

これからも、学習の目標を見定め、生徒の実態や習熟状況に応じて、授業を工夫してまいります。



【2Aの理科は、班ごとに天気予報の発表。筋道立てて説明しつつ、実際に高気圧や太陽などのアイコンをタブレット上で動かして、本格的で面白かったです。急に雪が降るなど、未来を予測するのは難しいものですね】



【英語で、教頭先生に突撃インタビュー。初めて聞くような話題が次々に出てきて、生徒は大喜びでした】